

計画番号	66
事業番号	事業実績欄に記入
担当課	健康増進課
記入者	長谷地 涼介
内線	51-6790

事業検証シート

基本目標	健康・福祉	すべての市民が健やかに暮らせるまち		
施策名	健康づくりの推進			
基本事業名	疾病予防の充実			
事業名	健康診査の推進	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続		
目的	がんの早期発見・早期治療を促進し、健康寿命の延伸を図る。			
手段	各種がん検診を実施する。また、市のがん検診受診の開始初期である満40歳の受診料無料化や、一定年齢の対象者のうち、子宮頸がん・乳がん検診が未受診の女性へ無料クーポンを交付する。			
事業開始年度	平成17	年度	事業終了年度	—
成果指標	現状値の推移		目標値	
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	
大腸がん検診受診率	31.9%	※	40%	
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	
事業費 (単位：千円)	104,094	119,125	※	
備考				
事業実績	実施内容			
	事業番号 (04-01-11-010200~010300) 各種がん検診を実施した。			
	事業実績 (成果指標以外)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)
受診率 胃がん 肺がん 子宮頸がん 乳がん	16.1% 24.9% 22.2% 26.7%	※	※	
事業評価	受診率の低い40~50代を対象に、自己負担の一部無料化を実施し健康診査を受けやすい環境づくりに努めた。 各種がん検診受診率向上の取り組みとして、インターネットによる健診のウェブ予約を実施した。また、対象者に大腸がん検診の検査キットを自宅に送付し、申込がなくても無料で受診できる体制を整え、実施した。 市民を対象とした健康教育時には健康診査の必要性について啓発を行った結果、指標である大腸がん検診受診率は増加傾向にあり、一定の事業の成果が見られた。 令和3年度外部評価対象事業である。委員からは「現状のまま継続」との評価結果が概ねであったため、引き続き更なる受診率の向上のために取り組む。			
達成状況	<input type="checkbox"/> 達成できた <input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成できた <input type="checkbox"/> 達成できなかった <input type="checkbox"/> その他			
今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化を図る <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 内容を改善して継続 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合を図る <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 完了			
上記理由	青森県のがん死亡率は全国最下位にあり、特に大腸がんの死亡率が著しく高い状況にあることから、早期発見・早期治療に向け、支援体制の充実を図る必要があるため。			
今後の改善内容				

令和4年9月30日(金)

令和4年度第2回十和田市外部評価委員会

十和田市健康診査の推進について

～がん検診の取組み状況～

健康福祉部健康増進課

説明内容

1. 事業の目的
2. 現状と課題
3. 取り組み状況
4. 健康づくりに対する意識の向上
5. 今後の方向性

1. 事業の目的

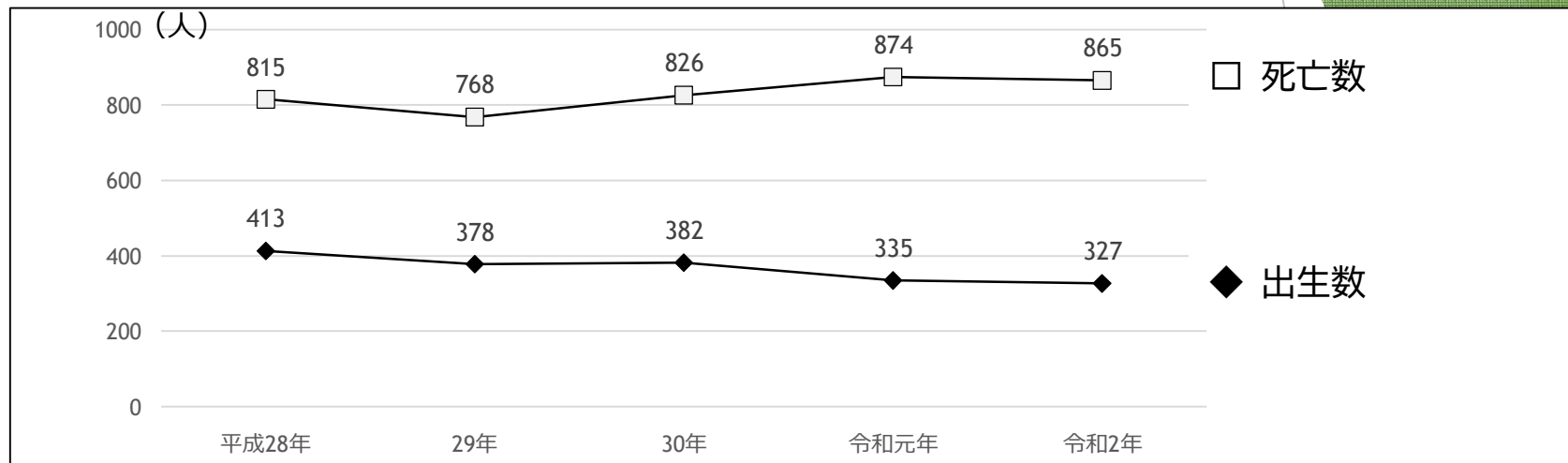
がん検診については、健康増進法第19条の2に基づき市町村が実施する健康増進事業として位置づけられています。

また、厚生労働省が定めたがん検診実施のための指針に基づき、がんの予防及び早期発見の推進を図ることにより、がんの死亡率を減少させることを目的としています。

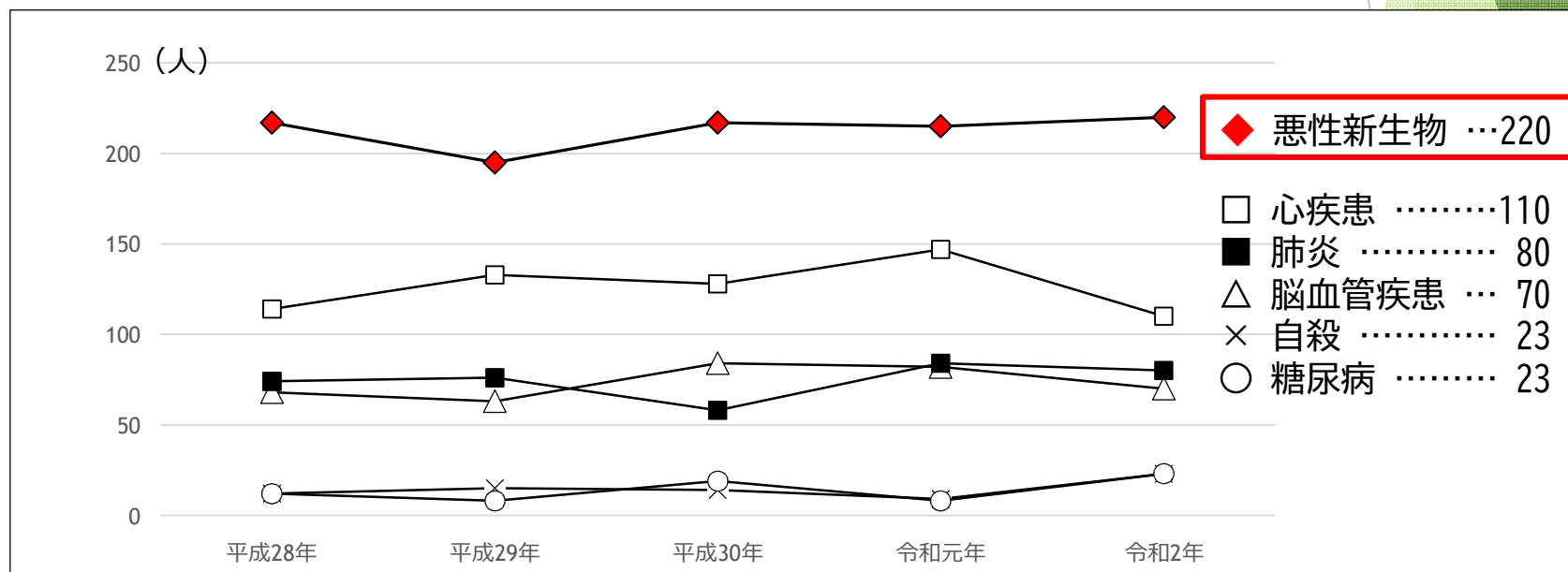
2. 現状と課題

(1) 死亡統計 -令和2年 (十和田市)

① 出生と死亡

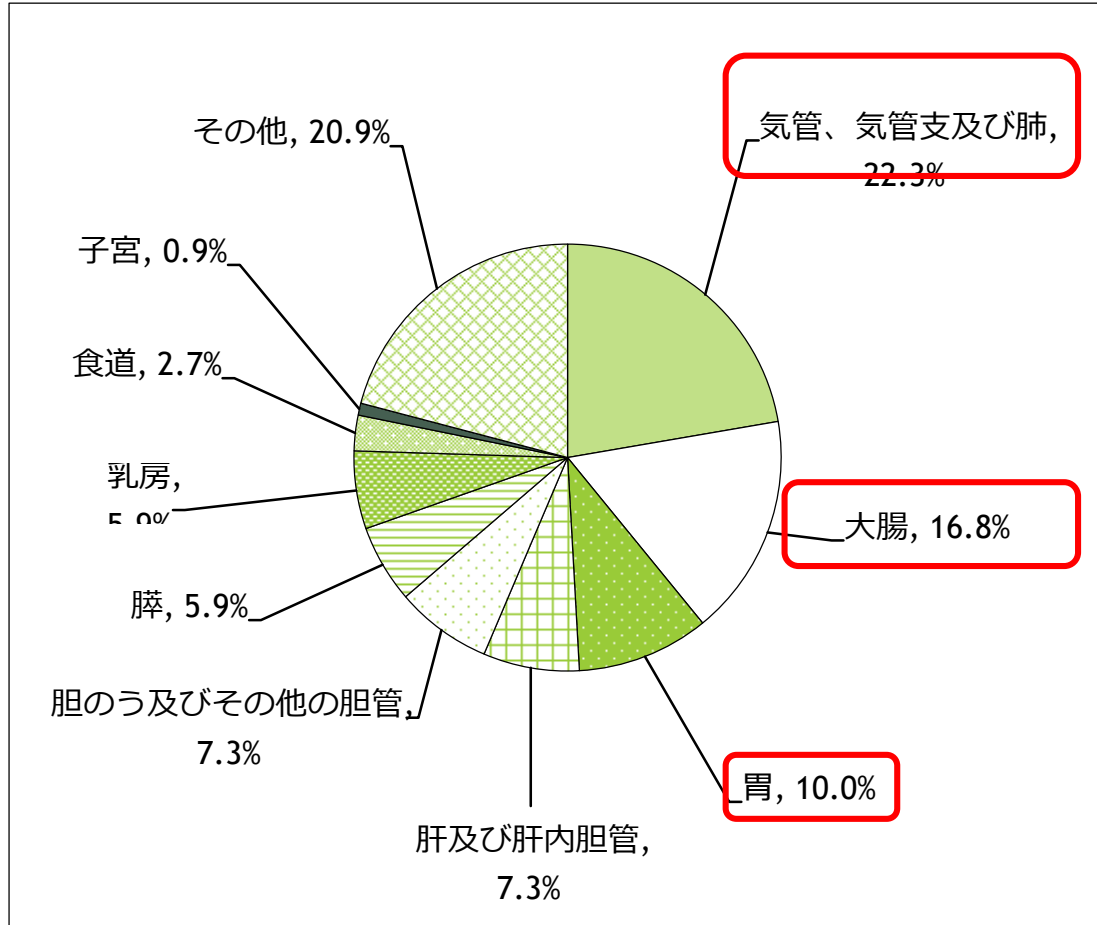


② 死因の動向



③悪性新生物の部位別死亡割合

十和田市

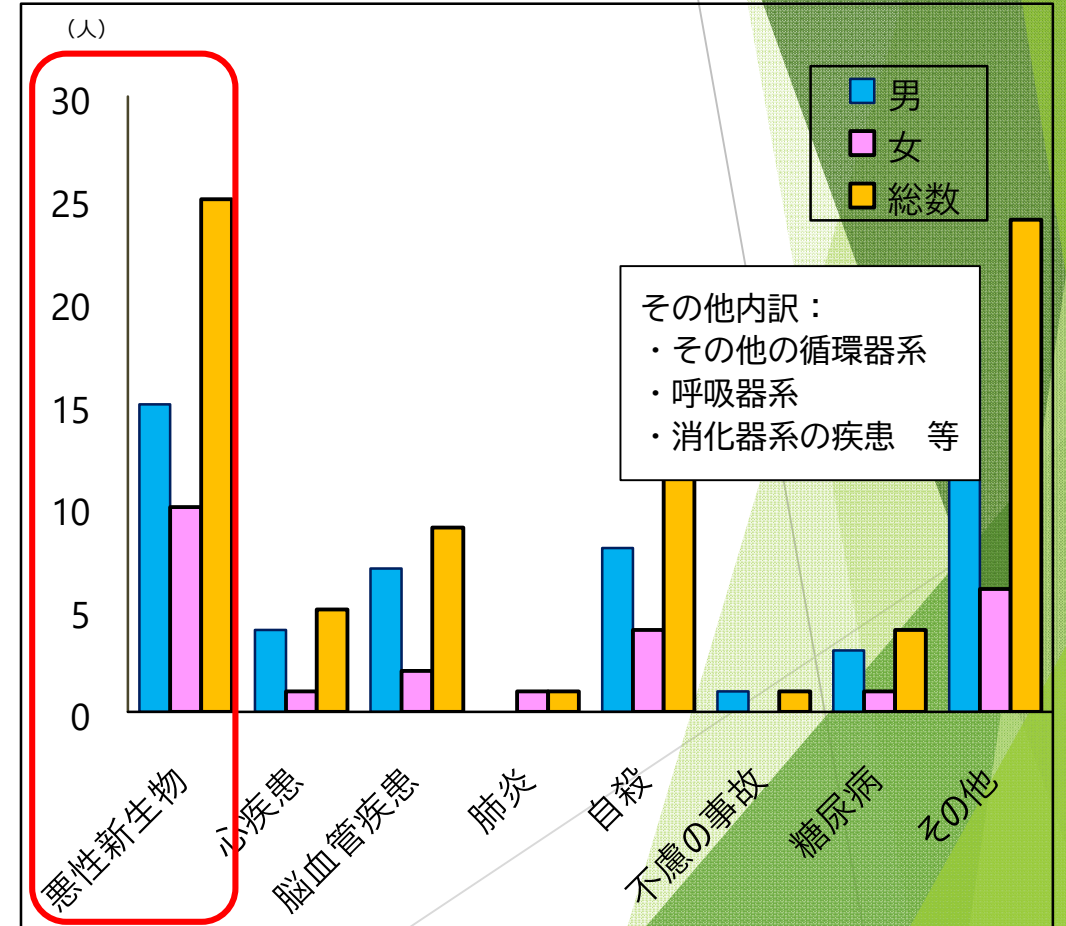


出典：青森県保健統計年報

④疾病別の早世数

※早世とは、65歳未満で死亡すること

十和田市



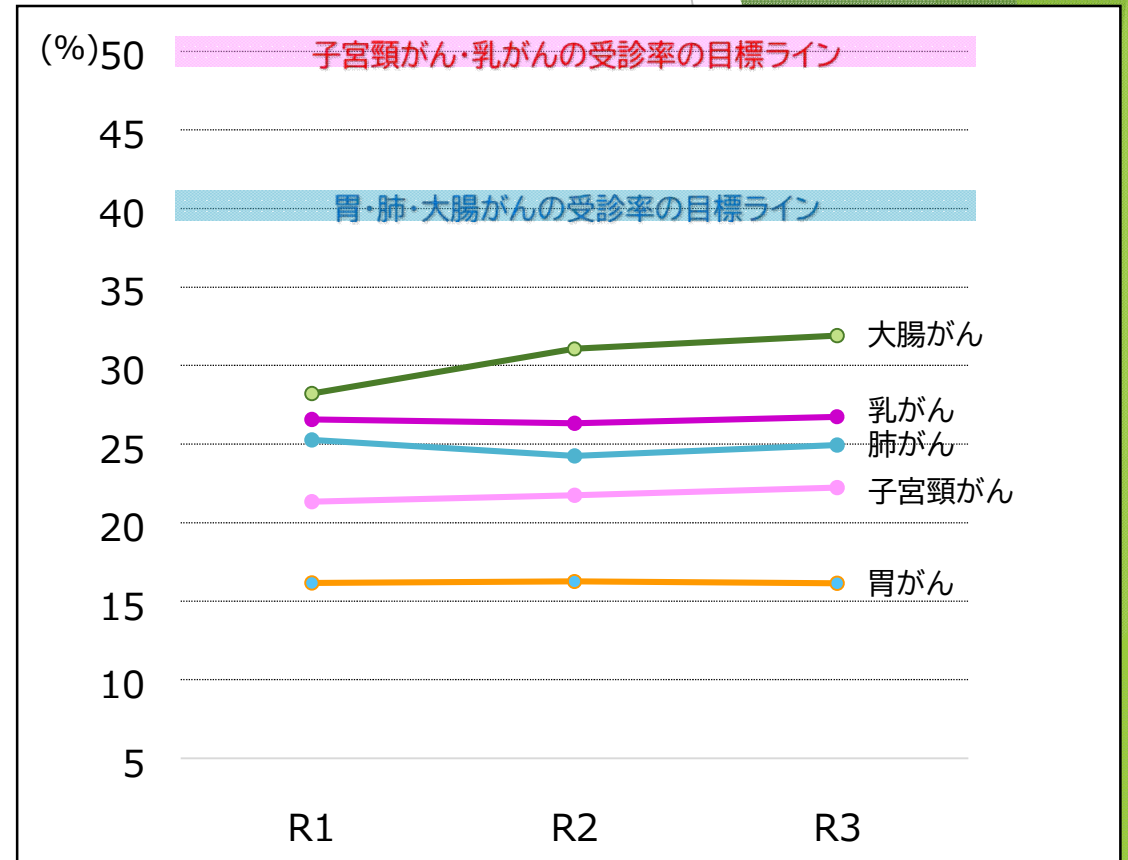
出典：十和田市人口動態統計

(2) がん検診実施状況と受診率

① がん検診実施状況

実施方法		実施場所	令和3年度	令和4年度(予定)
集団方式	胃がん・肺がん・大腸がん・肝炎	保健センター、各地域集会所等、学校の体育館等	53日	56日
	(婦人科検診)子宮頸がん・乳がん	保健センター、西コミュニティセンター、沢田悠学館	12日	13日
	乳がん	十和田市立中央病院	104日	78日
個別方式	胃がん・大腸がん・肝炎・子宮頸がん	市内指定医療機関	随時	随時
人間ドック		十和田市立中央病院	135日	137日

② 受診率の推移



【各がん検診の受診率目標】

胃がん・肺がん・大腸がん検診 … 40%
 子宮頸がん・乳がん検診 … 50%
 いずれも目標の受診率に到達していない

3. 取り組み状況

(1) 大腸がん検診推進事業（令和2年度より実施）

① 市独自事業

自己負担分を**無料**とし、対象者に受診票及び採便キットを送付し、市内各コミュニティセンターに設置した回収箱により回収し、その後要精検者に対して精検受診勧奨を行っている。

令和3年度実績値

年度末年齢（全員対象）	対象者（人）	受診者（人）	受診率（%）
50歳	844	202	23.9



② 県補助事業

過去5年間大腸がん検診を未受診の者に対して、**無料**で検診を実施している。対象者に受診票及び採便キットを送付し、市内各コミュニティセンターに設置した回収箱により回収。その結果、要精検となった者に対しては精検受診勧奨を行っている。

また、令和3年度より、期間中旬までに提出の無い者に対してはがきを送付することにより再勧奨を行っている。

令和3年度実績値

年度末年齢	対象者 (人)	受診者(人)	受診率 (%)
56歳	622	186	29.9
61歳	602	174	28.9
66歳	615	179	29.1

十和田郵便局
料金後納
郵便

〇R04R2月10日

無料大腸がん検診
まだ受診されていないあなたへ

大腸がん検診無料期間
大腸がん検診**無料**期間を延長します!!
令和4年2月28日(月)まで
検査はとても簡単!!

Step1. 採便容器を使い、2日分の便を採取する。
Step2. 受診票を記入する。
Step3. 回収BOXに採便容器と受診票を提出する。

回収BOX設置場所	受付時間	平日	土日 祝日
十和田市保健センター	9～17時	○	×
東コミュニティセンター	9～20時	○	○
南コミュニティセンター	9～20時	○	○
西コミュニティセンター	9～20時	○	○

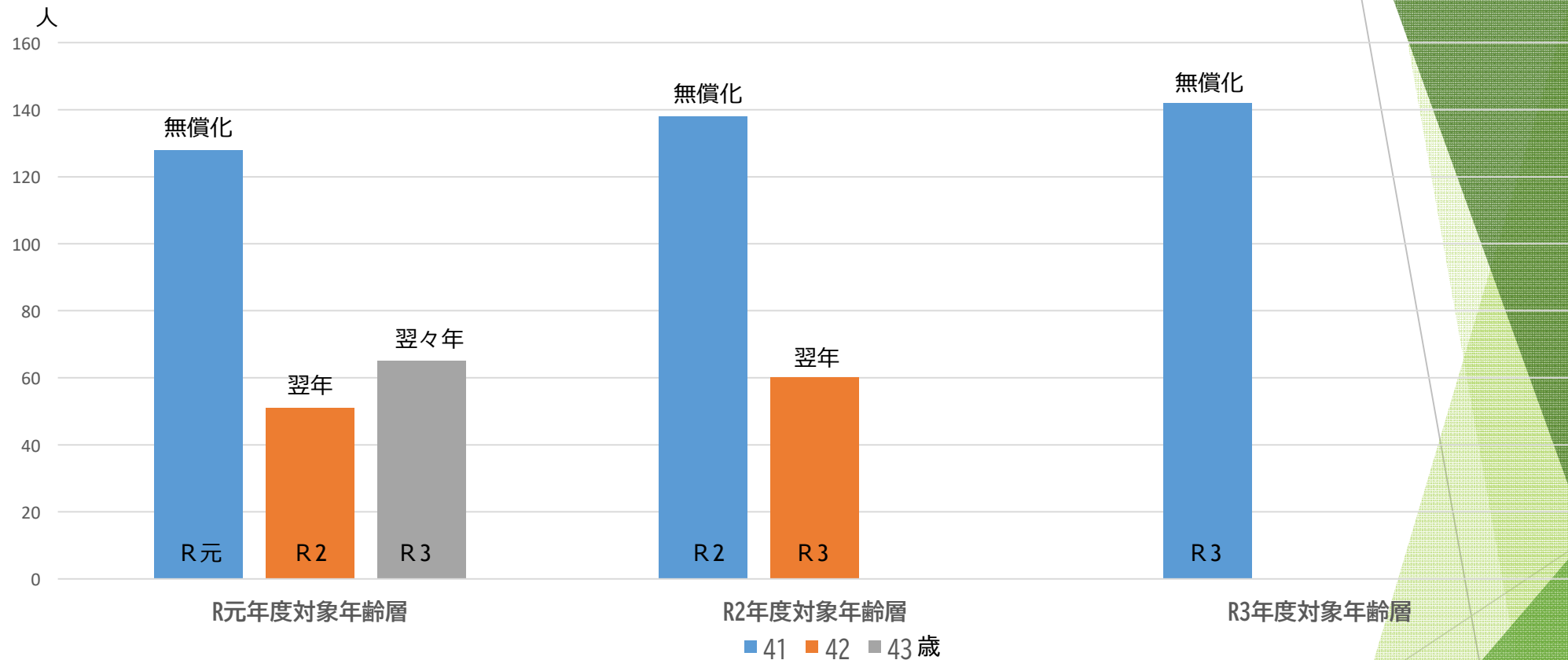
無料大腸がん検診は
受けましたか?

十和田市健康福祉部健康増進課(保健センター)
〒034-0081 十和田市西十三番町4-37
TEL: 0176-51-6790 FAX: 0176-25-1183
E-mail: kenshin@city.towada.lg.jp

〇このお知らせと行方違いで受診・提出された場合はご迷惑ください。
①大腸がん検診無料対象者は令和4年1月に採便容器、受診票を送付しています。郵送された場合は、十和田市健康増進課(保健センター)にお問い合わせください。TEL: 0176-51-6790

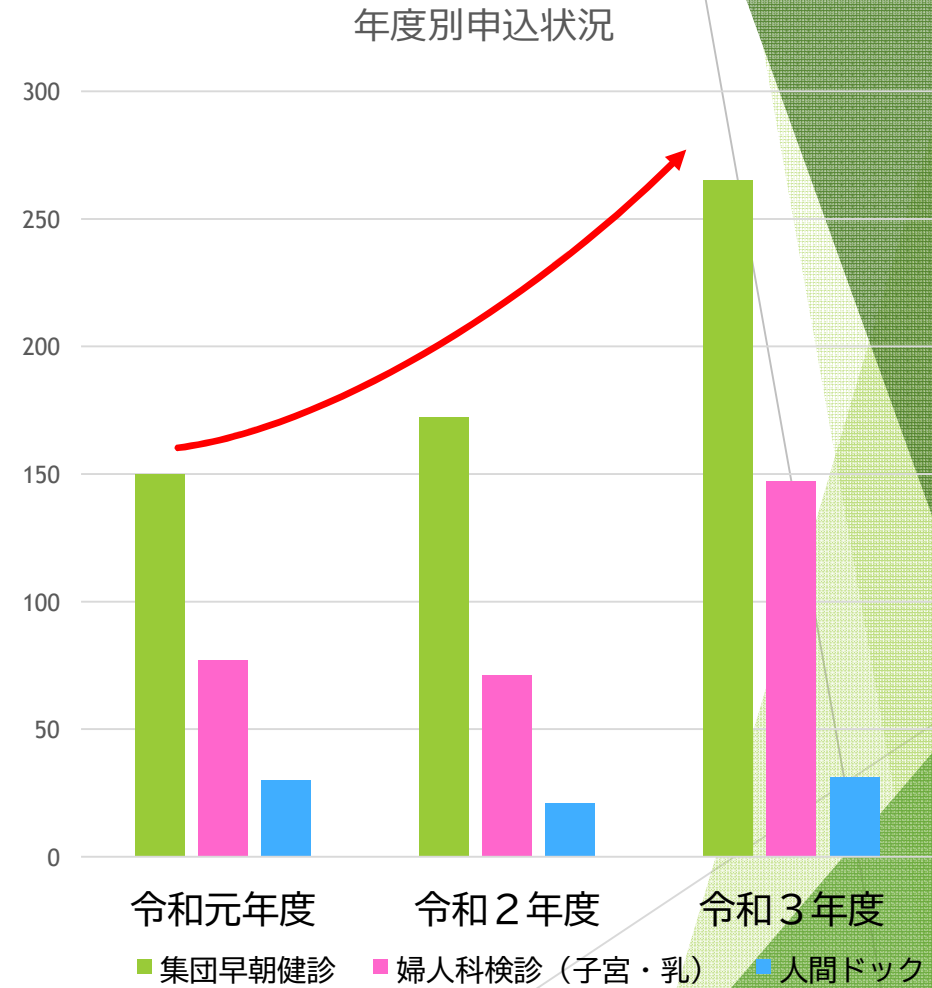
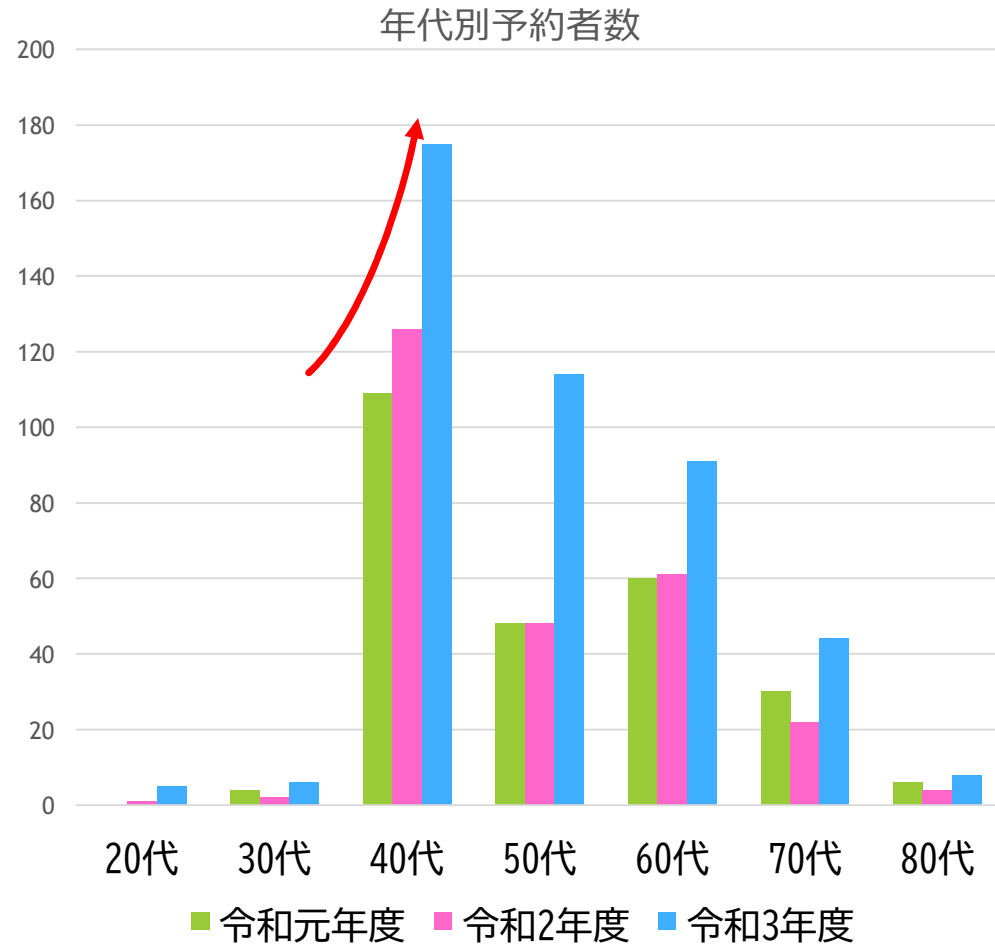
勧奨はがき

(2) 年度末年齢41歳のがん検診無料化事業 (平成30年度～) (十和田市独自事業)



- 無料化対象となる年度の受診者は多いものの、次年度以降の継続した受診には結びついておらず、長期的な受診率の向上には繋がっていないことが課題。

(3) インターネットによるウェブ申込事業



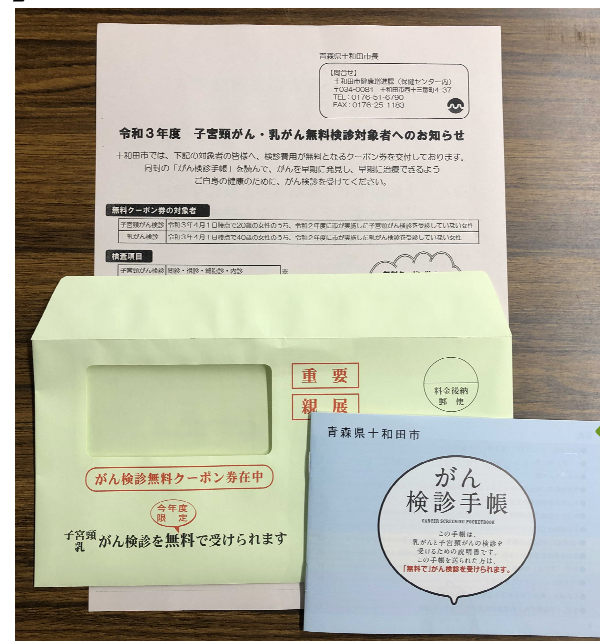
(4) がん検診推進事業 (国補助事業)

市内外で乳がん検診・子宮頸がん検診を**無料**で受診できるクーポン券の発行や未受診者勧奨を行う。

(国が実施する「新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業」を活用)

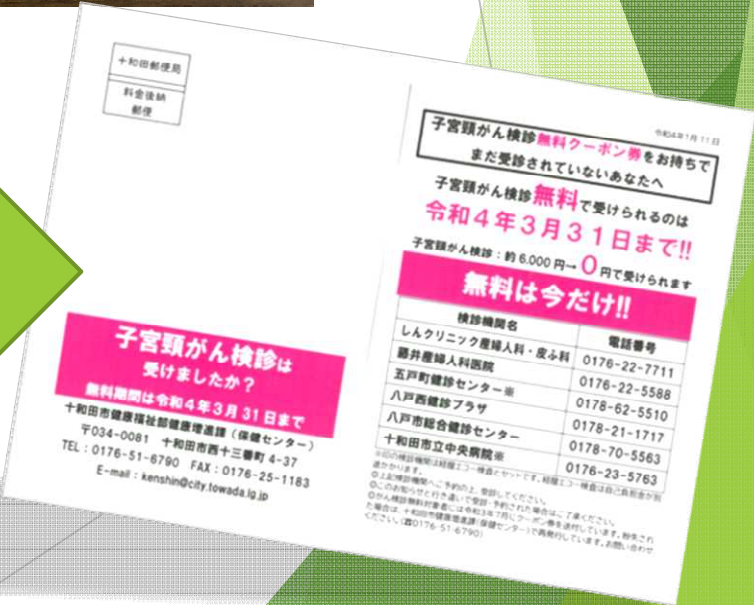
○クーポン券の対象者について

	乳がん検診	子宮頸がん検診
対象者	年度末年齢 41 歳の女性	年度末年齢 21 歳の女性
	※前年度受診者は対象外	
発送時期	7月上旬	
その他	クーポン券発送前に市内で婦人科検診を受診する場合は、無料で実施。	



クーポン券・
がん検診手帳

未受診者勧奨ハガキ



4. 健康づくりに対する意識の向上を図るために

(1) 働き盛り世代のヘルスアップ出前講座

① 健康課題

- ▶ 生活習慣病に起因する死亡が多い
- ▶ 65歳未満の死亡のうち6割が男性である
- ▶ がん検診受診率が10～20%と低迷しており、精密検査受診率も70～80%と横ばい傾向

事業所等と連携した
健康づくり支援が必要

② 講座内容

健康教育および健康相談を希望する事業所に対し、保健師・栄養士・健康運動指導士等の講師が出向き実施する。

テーマは生活習慣病予防やがん予防、栄養等から選択してもらう。

③事業実績

年度	事業所数 (件)		参加者数 (人)			テーマ *同一事業所で2テーマ選択あり	回数
	実数	延べ	64歳 以下	65歳 以上	計		
令和元	16	17	432 (87.1%)	64 (12.9%)	496	<ul style="list-style-type: none"> ・職場でのこころの健康づくり ・腰痛・肩こりさんのための簡単ストレッチ ・からだの健康はお口の健康から ・みんなにいいこといっぱい！禁煙のススメ ・高血圧予防のお話 ・知って得するBMI ・かしこく食べて体にうれしい食生活 ・知って得するがん予防 ・初めてのヨガ ・感染症に対するマメ知識 ・短命県返上セミナー ・市の健診体制・事業について 	4 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1
2	13	18	264 (86.0%)	43 (14.0%)	307	<ul style="list-style-type: none"> ・知って得する！感染症とその対策 ・運動による生活習慣病予防 ・ヨガでこころもからだもリラックス ・職場でのこころの健康づくり ・口コモ予防解消運動 	9 4 3 1 1
3	5	7	114 (97.4%)	3 (2.6%)	117	<ul style="list-style-type: none"> ・健診結果を活かしてより良い生活習慣を ・職場でのこころの健康づくり ・ヨガでこころもからだもリフレッシュ ・かしこく食べて体にうれしい食生活 ・運動不足による体の痛み改善エクササイズ&ストレッチ 	1 2 1 1 1 2



～講座の様子～

(2) とわだをピンクに染める会(ボランティア団体)

①活動目的

- ・乳がんの早期発見、撲滅のため正しい知識と検診の大切さを広めるピンクリボン運動に関する活動を行い、さらに十和田市の観光発展に努める

②具体的な活動内容

- ・桜まつりや女流流鏝馬大会等において、乳がんに関するパンフレットの配布、触診モデルの体験、がん検診申込を受付



5. 今後の方向性

【受診率向上に向けた取り組みの継続】

① 未受診者対策

- ・ はがきや電話による勧奨と再勧奨

② 健康教育

- ・ きっかけの提供、意識の向上
- ・ 市内事業所との連携

③ 受診しやすい環境づくり

- ・ ウェブ予約の周知
- ・ がん検診受診勧奨ポスターを企業等へ配布
- ・ 検診機会の多様化（レディースデイ・土日・祝日の集団健診等）



令和4年度 十和田市健康診査のご案内

★お申込み・お問い合わせ★
 十和田市保健センター
 ☎51-6790・6791・6792

Web申込は
 こちらから



種類	検査内容	対象者 ※年齢は年度末年齢 (令和5年3月31日時点の年齢) 40歳未満の市国保のかたは、 種類1~4を集団方式のみで受診可	料金区分				市民税非課税世帯 年度末年齢41歳 生活保護世帯 (集団・個別共通)
			※年齢は年度末年齢 (令和5年3月31日時点の年齢)		個別方式 (指定医療機関)		
			集団方式 (保健センター・集会所等)		個別方式 (指定医療機関)		
			年度末年齢 69歳以下	年度末年齢 70歳以上	年度末年齢 69歳以下	年度末年齢 70歳以上	
1	特定健康診査 ※1 後期高齢者健康診査	40歳以上の市国民健康保険加入者 40歳以上の生活保護世帯のかた 後期高齢者医療保険加入者 ※お勤めのかたは、 職場の健診が優先です	無料		無料		無料
2	胃がん検診	40歳以上の市民	1,300円	500円	1,800円	500円	無料
3	肺がん検診		400円	無料	無料		
4	大腸がん検診		500円 ※年度末年齢50歳のかたは無料	無料			
5	乳がん検診 (2年に1度)	40歳以上の女性	1,000円	無料	1,000円	無料	無料
6	子宮頸がん検診 ※2 (2年に1度)	20歳以上の女性	1,200円	無料	1,200円	無料	無料
7	骨粗しょう症検診	【女性限定】年度末年齢 40・45・50・55・60・65・70歳	600円	無料 70歳のみ	無料		無料
8	肝炎ウイルス検査	40歳以上の市民 ※これまで検査をしたことがないかたのみ	無料				無料
9	人間ドック 実施場所： 十和田市立中央病院	40歳以上の市国民健康保険加入者 40歳以上の生活保護世帯のかた 後期高齢者医療保険加入者 ※社保のかたは受診できません	★胃の検査方法により料金が変わります。 医し.10,000円 胃X線検査 (バリウム) 15,000円 胃内視鏡検査 (胃カメラ) 20,000円				

※1 協会けんぽ、共済組合など、市国保以外の保険に加入している40歳以上の被扶養者(家族)の特定健康診査の申込みは、青森県総合健診センター(☎017-741-2336)になります。
 (受診券が届いた後、新年度4/1以降にお申込みください)

※2 十和田市立中央病院の子宮頸がん検診は、エコー検査とセットとなり、追加料金(1,800円)がかかります。詳しくは、中央病院健診センター(☎23-5763)へお問い合わせください。

	健康診査の推進	回答
質問事項	<p>①最近CMで尿でがんを検査するキットを見ますが、自宅で手軽にできるのであれば便利だと思います。この利用を助成金などで推進することはできますか。</p>	<p>尿でがんを検査するキットについてはCM等で手軽さなど話題となっていますが、検診として国が推奨しているものではありません。そのため、公的助成をして推進することはできないものと考えています。</p>
	<p>②公務員や企業で働く者のほとんどは、年に一度は受診していると思われます。設定した年齢層全員に無料クーポンや受診料無料や受診勧奨の案内を送付すると、紙代、郵送料が無駄になっていると思われませんが、いかがでしょうか。</p>	<p>労働安全衛生法による事業者が労働者に対して実施する健康診断には基本的ながん検診は含まれておりません。従って、市として住民に対してがん検診を実施するにあたり、設定した年齢層へ公平に案内しています。また、従業員向けの検診を実施している事業所に対し、従業員のがん検診受診の情報を求めることも考えられますが、事業所への事務負担や煩雑さも考えると、実施には至っておりません。</p>
	<p>③早期検診はありますが、仕事が終わってから検診ができる施設(夕方から検査など)はありますか。</p>	<p>特定健診では血糖値や中性脂肪など、食事が数値に大きく影響する検査が含まれています。また、胃がん検診は胃を空っぽにしておく必要があります。そのため、空腹時、安静時の検診をするために早朝に行っています。仕事が終わってからの時間帯ですと、空腹状態で仕事が終わるまで我慢する必要があります。早朝である必要のない子宮がん・乳がん検診は日中に行っておりますし、影響がないという点では肺がん検診も可能ですが、一般的には特定健診もがん検診もセットで受診される方がほとんどですので、県内の検診施設において、夕方から検査できる施設は存じ上げません。</p>